

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス真愛		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「支援の質の向上」について職員が常に高い意識を持っていること	日々の支援の充実を図るため、前日の申し送り、当日の支援での注意事項、また保護者や学校からの留意点等を含めたミーティングを行う。また当日不在の職員が情報を共有できるように議事録に残している。	サービス計画を作成するための個別支援会議等をさらに充実させ、利用者の困りごとの解決に向けた支援の在り方について検討を重ねていくこと。職員が忌憚なく意見を言える環境を整えること。保護者様との情報交換をさらに充実させていくこと。
2	利用する子供たちの欠席が少ないこと	利用する子供たちが楽しみの中で考えたり、「できた！」を実感できるように活動内容やプログラムを充実させていること	子どもたちの成長に合わせ、月に一つは新しいプログラムを取り入れることを続けていく。また、対象年齢に幅があることを踏まえて難易度を調整し、「すこし頑張る」ことを大切にすること。「できた」という成功体験を積み重ねてあげられるような活動を考えていく。
3	保護者様との情報共有がスムーズに行えていること	連絡ノート、デイ日誌等で子供たちの日々の様子を細かくお伝えするとともに、保護者様が抱える悩みや困りごとを遠慮なく相談していただける体制が整っていること。	今後も利用者、保護者、学校、相談支援事業所との連携を第一義とし、必要に応じて適切な助言ができるように、支援中の子供たちの様子を記録に残すことで曖昧さをなくしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行っていない	支援の質の向上、事業所の課題、それに対する解決策等を明確にするために第三者による評価を受審することに意義はあると思うが、現状では差し迫った必要性を感じていない。	引き続き検討を重ねていく
2	関係機関、地域との連携等を行っていない	保護者様からのニーズがないこと。 利用している子どもたちはそれぞれに障害の特性があり、利用者が望まない状況で地域の学童保育または児童館等と交流することは難しいと考える。	当面は、他者との関りを生活の中で学んでもらう機会を設け活動に取り入れる（お買い物体験や公共交通機関の利用体験等）。また、地域で行われる体験型イベント等では主催者側に理解をしていただける環境を整えたいうえで、できるだけ参加していきたいと考えている。
3	保護者会等を行っていない	アセスメント、モニタリング、計画説明等において個別にお話を伺う機会を持っているが、この上さらに保護者会などの開催に時間を割いていただくと、保護者様のご負担が大きくなるのではないかと躊躇している。	現在のところ保護者様からのご要望は出ていないが、保護者様からの要望があれば速やかに計画していきたいと考えている。